

AOC Holdings, Inc. (TSE:5017)



2011年3月期第2四半期決算説明会

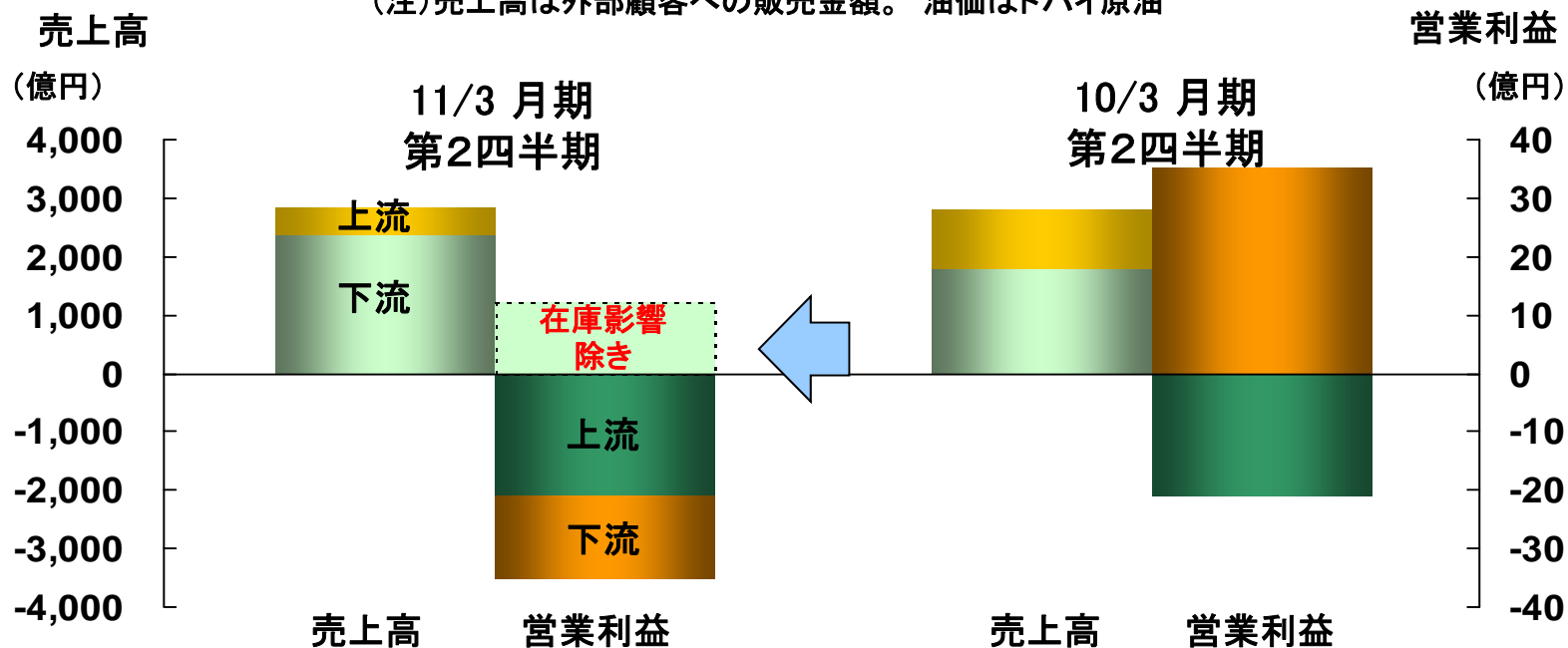
2010年11月11日

AOCホールディングス株式会社

11/3月期第2四半期 連結決算の概要

(億円)	11/3月期第2四半期 \$76.0/Bbl ¥89/\$			10/3月期第2四半期 \$63.5/Bbl ¥96/\$			増減額 \$ 12.5/Bbl △¥7/\$		
	上流	下流	計	上流	下流	計	上流	下流	計 (増減率)
売上高	457	2,373	2,830	990	1,802	2,793	△ 533	571	37(1%)
営業利益 除在庫影響	△ 21	△14 34	△36 12	△ 21	35 △ 100	13 △ 122	△ 0	△49 134	△49 (-%) 134(-%)
経常利益	△ 53	△17	△70	△ 29	29	0	△ 23	△47	△70 (-%)
当期純利益	△30	△ 15	△ 45	△27	△ 10	△ 37	△3	△5	△8 (-%)

(注)売上高は外部顧客への販売金額。油価はドバイ原油



原油販売量/販売価格

	販売量(千バレル/日)			販売価格(\$/バレル)	
	11/3月期 第2四半期	10/3月期 第2四半期	増減率(%)	11/3月期 第2四半期	10/3月期 第2四半期
クウェイトとの売買契約による購入原油	38.3	88.6	△57		
カフジ原油	38.3	83.6	△54	72.7	62.9
フート原油	-	5.0	-	-	-
権益原油	0.2	1.1	△82		
南海ミディアム原油 * (中国南シナ海)	-	0.7	-	-	42.7
エコフィスク原油 * (ノルウェー領北海)	0.2	0.4	△50	78.5	52.9
合 計	38.5	89.7	△57	—	—

* 1 - 6 月

原油処理量及び石油製品販売量

(千KL)

	11/3月期第2四半期	10/3月期第2四半期	増減率(%)
ガソリン	1,047	914	15
ナフサ	160	142	13
ジェット燃料油	606	481	26
灯油	74	40	85
軽油	810	502	61
A重油	38	77	△51
C重油 (内電力向け)	391 (342)	395 (297)	△1 (15)
ベンゼン	92	64	44
キシレン	169	111	52
その他	398	279	44
小計	3,790	3,011	26
ジョイント・バーター	173	277	△38
合計	3,963	3,288	21
内、輸出量(除バンカー)	345	101	242
原油処理量	3,867	2,656	46

セグメント別売上高/営業利益

内部取引 消去後 (億円)	11/3月期第2四半期		10/3月期第2四半期		増 減	
	石油・ガス 開発/販売	石油 精製/販売	石油・ガス 開発/販売	石油 精製/販売	石油・ガス 開発/販売	石油 精製/販売
売上高	457	2,373	990	1,802	△ 533	571
営業利益	△ 21	△ 14	△ 21	35	△ 0	△ 49

売上高/営業利益増減分析

売上高/営業利益増減分析		増加要因	減少要因
売上高	石油・ガス開発/販売	販売価格の上昇 15%	販売数量の減少 △57%
	石油精製/販売	販売数量増 21% 販売単価の上昇 17%	
営業利益	石油・ガス開発/販売		新華南終了 △1億円
	石油精製/販売	燃料油マージン改善 +128億円 化成品マージン改善 +12億円	在庫影響 △184億円 石油ピッチマージン △12億円

営業外損益/特別損益の内訳

営業外損益明細

(百万円)	11/3月期 第2四半期	10/3月期 第2四半期	増減
営業外収益	1,713	863	850
受取利息・配当金	646	442	204
持分法投資利益	741	110	631
その他	325	310	14
営業外費用	5,101	2,175	2,926
支払利息	1,354	1,268	85
為替差損	3,437	701	2,736
その他	308	205	103
営業外損益	△3,387	△1,312	△2,075

特別損益明細

(百万円)	11/3月期 第2四半期	10/3月期 第2四半期	増減
特別利益	1	-	1
特別損失	66	550	△ 484
固定資産除却損等	66	550	△ 484

連結貸借対照表の主な増減項目

	10/9月末	10/3月末	増減額	主な増減要因 (億円)
流動資産	1,591	1,881	△290	売掛金 △195 棚卸資産 △74
固定資産	1,810	1,880	△69	
有形固定資産	1,304	1,357	△53	機械装置 △54
投資その他の資産	487	502	△14	KGOC貸付為替評価差 △23
資産 合計	3,402	3,762	△360	
流動負債	1,729	1,989	△260	短期借入金 △194 買掛金 △49
固定負債	809	859	△49	長期借入金 △59(内KGOC △23)
負債 合計	2,539	2,848	△309	
純資産 合計	862	913	△50	利益剰余金 △45
負債純資産 合計	3,402	3,762	△360	

KGOC(Kuwait Gulf Oil Company) : クウェイトでの融資契約の相手先

連結キャッシュフローの状況

(億円)

	11/3月期 第2四半期	10/3月期 第2四半期	11/3月期第2四半期 説明
営業活動によるCF	289	△120	税前損失 △70 減価償却費 +71 売上債権減少 +195 棚卸資産減少 +74 仕入債務減少 △49
投資活動によるCF	△46	△67	固定資産取得 △34 探鉱開発投資 △11
財務活動によるCF	△232	189	短借純減 △195 長借純減 △35
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	0	
現金及び現金同等物の増減	2	1	
現金及び現金同等物の期首残高	176	287	
現金及び現金同等物の期末残高	179	288	

AOC Holdings, Inc. (TSE:5017)



2011年3月期通期業績見通し

11/3月期下期 事業環境・事業計画の概要

▶ 通期見通しの前提

- ◆ 原油価格: ドバイ原油 \$78/Bbl (下期: \$80/Bbl)
- ◆ 重軽格差: \$2.9/Bbl (下期: \$3.0/Bbl)
(アラビアンライトとアラビアンヘビーの価格差)
- ◆ 為替レート: 87円/\$ (下期: 85円/\$)

▶ 事業計画 上流事業

- ・ 新規開発・生産案件の調査・発掘
- ・ 進行中の開発案件(エジプト・ノルウェー)の早期事業化推進
- ・ エンジニアリング・技術調査関連事業の推進
- ・ 原油販売計画: 40千バレル/日

下流事業

- ・ 袖ヶ浦製油所の安定操業維持
- ・ 装置の柔軟かつ機動的な運用
- ・ 石油製品販売計画: 7,884千KL

11/3月期 通期原油・石油製品販売量

原油 (千B/D)	11/3期(計画)	10/3期	増減率(%)
カフジ原油(売買契約)	40.1	77.6	△ 48
フート原油(売買契約)	-	3.8	-
南海ミディアム原油(権益原油)*	-	0.4	-
エコフィスク原油(権益原油)*	0.3	0.3	△ 0
原油計	40.4	82.1	△ 51

* 1-12月

石油製品 (千KL)	ガソリン	2,016	1,907	6
	ナフサ	385	356	8
	中間留分	3,185	2,788	14
	C重油 (内電力向け)	673 (582)	640 (455)	5 (28)
	ベンゼン・キシレン	519	428	21
	その他	813	672	21
	小計	7,593	6,794	12
	ジョイント・バーター	291	498	△42
	石油製品 計	7,884	7,293	8
	内、輸出量(除バンカー)	815	431	89
	原油処理量	7,828	6,496	20

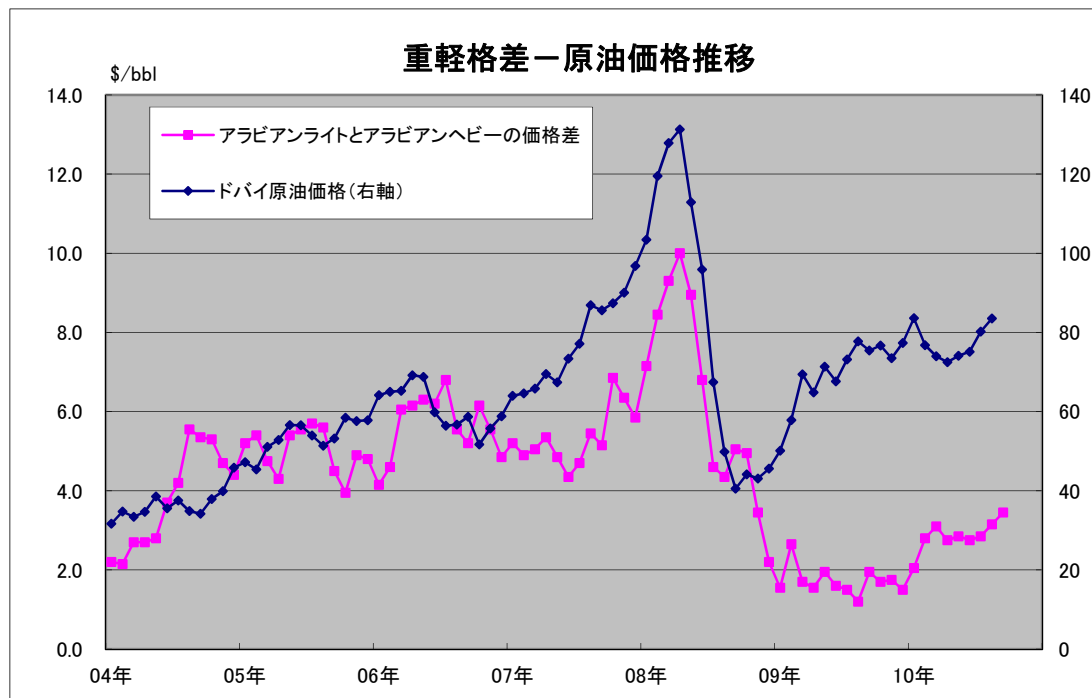
11/3月期 通期連結業績見通し

単位:億円

(油価はドバイ原油)	11/3月期 見通し \$78.0/Bbl ¥87/\$			10/3月期 実績 \$69.6/Bbl ¥93/\$			増減額 \$8.4/Bbl △¥6/\$		
	上流	下流	計	上流	下流	計	上流	下流	計 (増減率)
売上高	965	4,485	5,450	1,898	4,049	5,947	△933	435	△497(△8%)
営業利益 除在庫影響	△34	27 (70)	△7 (36)	△31	△18 (△188)	△49 (△219)	△2	45 (258)	42(-%) (255)(-%)
経常利益	△30	12	△18	△33	△39	△72	3	51	54(-%)
当期純利益	△16	17	1	△27	△134	△161	11	151	162(-%)

営業利益の増減要因	増加要因	減少要因
上流	探鉱費減少 +2億円	新華南終了 △1億円 権益原油油販売減 △3億円
下流	燃料油マージン改善 +236億円 化成品マージン改善 +18億円	在庫影響 △212億円 石油ピッチマージン悪化 △1億円

補足資料



原油価格・為替変動の営業利益への影響額

		上流	下流	計
原油価格 \$1/バレル下落に付き	マイナス	0.0億円	3.5億円	3.5億円
為替 ¥1/\$円高に付き	マイナス	0.0億円	3.5億円	3.5億円

(注) 上流は権益数量が少ないため、営業利益へのインパクトはほとんどない
 下流は在庫影響のみ、石油製品価格は原油価格に連動するものとしている。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

お問合せ先：
IR・広報部 粕谷、富岡